

■日左連経営改革新事業

伝統工法 現代工法 継承研修会



標記の研修会は、中国ブロック会の広島県左官業組合連合会が幹事団体となり、所属の5県から74名(設計士、建築士2名)の参加があった。

冒頭、広島県連の丸山会長から「年末のお忙しい中、各県から参加いただき、感謝申し上げます。今回は、日左連より鈴木講師、広島建築士会から下田講師をお招きし、またモデリングDVDでも有名な人造石洗い出しのスペシャリストの荒木講師を福岡県からお呼びしたので、各先生のお話をじっくり聞いて学んだことを身に付けていってほしい」と開会の挨拶があった。

午前の座学については、はじめに荒木講師による「午後の実技指導につながる事前説明と今までの施工建築物の紹介」があり、次に日左連派遣の鈴木講師より、研修会テキストに基づき「左官材料について」の説明と「JASS19 陶磁器質タイル張り標準仕様書改訂」の改正点の解説があった。続いて地元建築士会の講師として(一社)広島県建築士会の下田先生より「草・土・

石・木 素材を生かした建築!再生アプローチ事例」と題して、講演があった。

午後からは別会場へ移動して今研修会の目玉でもある荒木講師によるドライウォッシュ工法の実技研修の解説が行われた。教わったことをすぐに身に付けてもらえるように各県連用の体験塗りスペースが1個ずつ用意され、受講者は時より荒木講師から細かく説明を受けておりました。

その後、荒木講師が使用している鍔及び馬毛の素材のブラシ、材料を練る時に独自の刃が装着された攪拌機に対しての質問があり、同機械を開発した福山左官業組合の渡辺組合長から、「コンクリートミキサーをわざわざ持って行かなくても形態性があるのでどんな現場でも利用できて便利です。」という説明があった。

実技終了後に再度座学会場へ戻り、丸山会長より代表受講者へ修了証が手渡され、広島県左官業協同組合の中本理事長による閉会の辞にて同研修会を終了しました。

座学研修	左官に関わる法的要因(テキストを中心とした伝統工法・現代工法について)	9:40~10:20	40分	(一社)日本左官業組合連合会 理事 鈴木 光
	伝統工法・埋もれてしまった工法等	10:20~10:50	30分	(福岡県出身) 福岡県左官業組合連合会 講師 荒木 富士男
	地元建築の設計要因 (設計アプローチ手法)	10:50~11:30	40分	(一社)広島県建築士会 講師 下田 卓夫
実技研修	ドライウォッシュ法	12:30~15:30	180分	講師 荒木 富士男



広島県連丸山会長の挨拶



地元役員（左より）広島県藤原相談役、
広島県中本理事長、山口県下野理事長、
中国ブロック会丸山会長



左より荒木講師、下田講師、鈴木講師



広島建築士会 下田講師



日左連理事 鈴木講師



福岡県連 荒木講師



攪拌機の説明をする
福山支部の渡辺組合長



ブラシにて水分をはじく作業



直接指導をする荒木講師



使用する鋺を説明する荒木講師



塗りつけ作業



目地棒の取り付け作業



実技実習の受講風景



最後の目地棒をとる作業



荒木講師が使用したブラシ



中本理事長の閉会の辞